

# InvestHK

---

## 2021～22年度予算案：ビジネスを支援し、経済を活性化

2021年2月24日、香港特別行政区政府の陳茂波（ポール・チャン）財政長官は、2021～22年度予算を発表しました。企業が現在の不況を乗り越えてパンデミック後の回復に備える支援をするため、多岐にわたる措置が実施されることを提示しました。

昨年、新型コロナウイルスの感染拡大は世界に大きな打撃を与え、世界経済に前例のない影響をもたらしました。今年度の予算では、香港の基幹産業の競争力を強化するためのさまざまな取り組みが打ち出されました。

主な救済措置、景気刺激策は以下のとおりです。

### 企業支援

- 企業向け全額政府保証低金利融資の申請期間を今年末まで延長。融資上限を 600 万ドル（単位は香港ドル。以下同じ）に引き上げ、返済期間と元金返済猶予期間を延長
- 2020～21 課税年度の法人税を、1 万ドルを上限に 100%減額
- 2021～22 年度につき、最初の 2 四半期は 1 四半期あたり 5,000 ドル、残りの 2 四半期は 2,000 ドルを上限に非住宅固定資産税を減額
- 2021～22 年度の事業登記料の免除
- 非住宅ユーザーの水道代と下水道代の 75%減額を 8 か月にわたり継続。月額上限はそれぞれ 2 万ドルと 1 万 2,500 ドル
- 条件を満たす政府所有物件、短期および一時免除書付き物件について、賃料や費用の 75%減額を 6 か月間継続（政府の要請により閉鎖された物件の場合は 100%減額）

### 経済再生

- 18 歳以上の香港永住者と新規移住者を対象に、1 人あたり 5,000 ドルの電子商品券を数回に分けて発行

- ブランド構築、アップグレード、域内販売に関する専用基金（Dedicated Fund on Branding, Upgrading and Domestic Sales (BUD)）に15億ドルを注入。1企業あたりの助成金上限を600万ドルに引き上げるとともに、対象の地理的範囲を段階的に拡大
- オンライン活動の実施やデジタル化推進の能力増強のため、香港貿易発展局に3億7,500万ドルを割り当て
- デジタル認証プラットフォーム「iAMSmart」の企業版を開発
- 「香港法律クラウド」の開発を研究

### 観光・文化・クリエイティブ産業

- 1億6,900万ドルを割り当てて、地元の文化や遺産、クリエイティブツーリズムに関わる観光プロジェクトを引き続き推進
- 7億6,500万ドルを割り当てて、観光業再生に向けた香港政府観光局（HKTB）の活動を支援
- HKTBは香港観光の長期的な位置づけについて総合的な見直しを行い、観光業の回復を促す戦略を策定
- 公共の衛生が守られる前提の下、地元での団体ツアー再開を検討し、観光業の回復を促進
- 「エア・トラベル・バブル」について、適切な地域と協議し、実施方法の検討を進める
- 「クリエイティブスマート計画」に10億ドルを追加注入

### 金融サービス

- 今年度において240億ドル以上のシルバー債と150億ドル以上のアイボンド（iBond）を発行
- シルバー債の申込対象年齢を65歳から60歳に引き下げ
- 今後5年間に総額1,755億ドルのグリーンボンドを発行。個人向けグリーンボンドの発行を計画
- 「グリーンで持続可能な金融助成計画」（Green and Sustainable Finance Grant Scheme）を開始して、債券発行費用および外部審査業務委託費用を助成
- 中国本土との債券相互取引制度「債券通　ボンド・コネクト」について、南行き取引（Southbound Trading of Bond Connect）の年内開始に努めるとともに、域内の債券決済中央システムを強化
- 香港に上場する不動産投資信託に補助金を提供



- 「保険連動証券助成試験計画」を開始し、発行費用を助成
- 開放式基金型会社が香港に設立または本拠地を移転するのを助成
- ファミリーオフィス事業に関連する税務上の取り決めを見直し

### イノベーションとテクノロジー

- 95 億ドルを年 2 回に分けて「技術革新・科学技術基金」(Innovation and Technology Fund) に注入
- 香港金融管理局は、革新的な金融商品の市場投入にかかる時間を短縮するため、「フィンテック監督サンドボックス」の拡充を検討
- 落馬洲河套地区における香港・深圳イノベーション&テクノロジーパークの開発を推進
- サイエンスパークの拡張とサイバーポート第 5 期開発を引続き推進
- 5G ネットワークの構築とその応用を引続き支援
- 本年第 1 四半期に、「InnoHK 研究クラスター」(InnoHK Research Cluster) の下、第一陣となる約 20 の研究開発ラボが次第に稼働

### 航空貨物業

- 既存の航空貨物ターミナルの拡張、新たな最先端物流センターと滑走路 3 本体制の供用開始により、香港国際空港の年間貨物取扱能力は 2024 年に約 900 万トンに増加する見込み
- 国際航空貨物ハブとしての香港の競争力を維持すべく、香港経由トランシップの利便性を高める措置を研究
- 香港国際空港にある航空郵便センターの再開発を行い、最短で 2027 年中に操業を開始

(\*通貨単位：香港ドル)

詳細については、こちらをご参照ください：[budget.gov.hk](http://budget.gov.hk)



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

## 国際イベント・スケジュール

4月21日

### オンラインセミナー Edu Tech in Hong Kong and APAC

このセミナーは、香港と APAC（アジア太平洋地域）における教育テクノロジー (Edu Tech) 分野と企業の事業機会に焦点を当てます。香港の基調講演者からエデュテックの現状や今後の進展が語られるとともに、欧州のエデュテック起業家の方々に経験を共有していただきます。

主催：インベスト香港

▪ [investhk.gov.hk/en/events.html](https://investhk.gov.hk/en/events.html)

4月22日

### オンラインセミナー「香港—ビジネスに有利な中国へのゲートウェイ」

本ウェビナーでは、林鄭月娥（キャリー・ラム）香港特別行政区行政長官が、広東・香港・マカオ大湾区発展計画の新たなイニシアチブについて最新情報をご紹介します。また、香港で事業を展開する日本企業の経営陣および日本貿易振興機構（ジェトロ）香港事務所長をお迎えし、香港と大湾区でのビジネスチャンスについての洞察を共有していただきます。

主催：香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部

共催：香港特別行政区政府投資推進局（インベスト香港）

▪ [investhk.gov.hk/ja/events/webinar-hong-kong-pro-business-gateway-china.html](https://investhk.gov.hk/ja/events/webinar-hong-kong-pro-business-gateway-china.html)

5月24日～28日 香港

### 2021年 StartmeupHK フェスティバル

StartmeupHK フェスティバルは世界最大規模のテクノロジー会議であり、世界で活躍するスタートアップ、投資家、業界リーダーや、学術分野や政府の代表者が、意見を交換し、つながりを築き、将来への道筋を描く場となります。

主催：インベスト香港及びイベントパートナー

▪ [startmeup.hk](https://startmeup.hk)

5月31日 香港

### ESG アチーブメント・アワード 2020

このアワードは、ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みにおいて優れた実績を示した企業を広く紹介することを目的としています。

主催：The Institute of ESG and Benchmark

▪ [iesgbawards.org](https://iesgbawards.org)

6月11日 香港

### HKICS 22<sup>nd</sup> Annual Corporate and Regulatory Update (ACRU)

香港特許秘書公会 (HKICS) によるこの年次イベントは、ガバナンスのプロフェッショナル、会社秘書役、ディレクター、経営幹部のためのフォーラムであり、ガバナンス関連問題について



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

とりあげます。コーポレートガバナンスや規制の最新状況に関する情報を、規制当局者から直接聞くことができます。

主催：The Hong Kong Institute of Chartered Secretaries (HKICS)

- [acru.hkics.org.hk](http://acru.hkics.org.hk)

#### ■ インベスト香港主催行事

最新イベント情報は、[investhk.gov.hk](http://investhk.gov.hk) をご覧ください。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局

特集：

## 香港：比類なきリーガル・ハブ

香港の事務弁護士会である律師会（The Law Society）によれば、香港には、地場の法律事務所がおおよそ940、外国法律事務所がおおよそ90あります。これにより、香港は世界のリーガル・ハブとして卓越した地位を誇ります。2018年の法務サービスの輸出額は約3億8,000万米ドルでした。香港には9,000社を超える外資系企業（含中国本土企業）が拠点を置いています。こうした企業が、現地のダイナミックなビジネス界とともにこの地域の各地でビジネスを行うなか、広範な専門的助言を得ることができるのは大きなメリットです。企業再編、M&A、資本市場等からの資金調達、知的所有権、清算・破産、法規制・コンプライアンス、サステナビリティといった分野での専門的助言を得ることができ、さらに、香港は仲裁においても世界的に有名です。

堅固な司法・法制度により、国際リーガル・ハブとしての香港の地位は確固たるものとなっています。司法の独立は、主として基本法（Basic Law）において定められた強固なインフラを前提としています。そのインフラとは、裁判官の在職権保障、司法免責、地方裁判所判事以上の地位にある裁判官の香港における事務弁護士、法廷弁護士への転身の禁止などであり、非常に重要なのは基本法第85条に「司法の独立を保障し、いかなる干渉も受けない」と明示していることです。全裁判官が行う宣誓では、法を守り、恐れることなく公平な裁きを行うことを誓うことが求められます。裁判官は、証拠と法に基づいて司法的判断を下さなければならず、判決及びその判決に至った経緯・理由を、一般に公開される審判において説明しなければなりません。現最高裁判所長官は「暴力や個人情報を拡散するといった脅しなどによって裁判官に不当な圧力をかける行為は、非難されるべき行為であり、まったく効果がないものだ」と述べています。さらに、前長官は、1月5日付のメディアによるインタビューやそのほかの機会にも繰り返し、司法への圧力はないと明確に断言しています。

香港は国際法務・紛争解決サービスの主要な場として機能しています。仲裁の中心地として優位性を保っている理由として、現代的で利用しやすい仲裁法があり強固な基盤を有する、といったことが挙げられます。2011年6月に施行された「仲裁条例（Arbitration Ordinance）」は、「国際商事仲裁に関するUNCITRAL（国連国際商取引法委員会）モデル法」に基づくものであり、国内仲裁と国際仲裁の異なる二つの制度の統一を図ることを目的としたものです。同条例はその後、国際仲裁における進展にあわせて改正されてきています。香港の仲裁は、柔軟性が高いことで知られており、その仲裁判断は160を超える司法管轄地域・国で執行可能です。中国本土においても、その仲裁判断のほぼすべてが執行されているということも注目に値するでしょう。香港国際仲裁センター（HKIAC）の統計によれば、昨年香港で取り扱われた仲裁件数は近年最高の318件でした。対象案件の合計金額は90億米ドル弱で、2011年以降で最高額となりました。数多くの仲裁が今も香港で行われています。国家安全維持法の施行から半年間、2020年7月から12月にHKIACが新たに受けた案件は182件で、2019年の同時期に比べて39%増加しています。

香港は、「一国二制度」のもとでの独自の地位を有するため、2019年に「中国本土及び香港特別行政区の裁判所間の仲裁手続の相互共助保全に関する協定（Arrangement Concerning Mutual Assistance in Court-ordered Interim Measures in Aid of Arbitral Proceedings by the Courts of the Mainland and of the HKSAR）」を結ぶなど、画期的な取り決めを行うことができています。HKIACが受け付けた申し立ての対象額は19億米ドルで、現時点までに中国本土の裁判所では合計15億米ドルの対象案件の仲裁命令を承認しています。



香港特別行政区政府

InvestHK 投資推進局



## 大湾区におけるチャンス

広東・香港・マカオ大湾区（大湾区）には、「一国二制度・三司法管轄区域（One Country, Two Systems and Three Jurisdictions）」という独自の強みがあります。また、大湾区発展計画綱要においては、「一国二制度」のもとでの香港の法制度の卓越した優位性が認識されており、大湾区の開発で重要な役割を担うものとされています。2019年8月、広東省では中国本土のどの地域よりも先に、法律事務所の提携をさらに自由化する措置が導入されました。2020年6月以降、この措置は中国本土全体に拡大して適用されています。現在、企業や投資家は、中国本土で業務を行っている、コモンローにも詳しい法律事務所や法律専門家に依頼することもできるようになっています。2020年8月には、「深圳経済特区前海深港現代サービス業協力区規則（Regulations of the Qianhai Shenzhen-Hong Kong Modern Service Industry Cooperation Zone of the Shenzhen Special Economic Zone）」が改正され承認されました。これにより、前海（Qianhai）に登録している香港企業は、民事・商事契約において香港法を適用することを選択できるようになっています。この措置は早期に導入され、試験的に運用されており、前海に登録している1万1,000社を超える香港企業の完全子会社にとっては大きな進展であり、多くのメリットをもたらします。現在、大湾区全体にこの措置を拡大することについて中央政府のサポートを得るべく尽力しています。

こうした事実は、香港が効果的に機能し中立性も持つハブであるという評価を裏付けるものです。世界中の企業と日々連携していることも、この評価を支えています。香港の法務や仲裁サービスがビジネス運営や拠点の設立にとってどれほど重要な要因であるか、世界中の企業が教えてくれます。

香港には、契約締結や紛争解決の傑出した中心地として、幅広い分野でさらなる発展の可能性があります。香港は大湾区における国際ハブであり、また、一帯一路構想により新たな越境投資が推進されています。グリーン・ファイナンスやファミリー・オフィスの分野でも、今後ますます大きな役割を果たすようになってくるでしょう。その際、優れた法務サービスの需要がますます高まってくるのです。新型コロナウイルスの感染拡大から世界が復興していくにあたり、香港が今後も世界の主要なリーガル・ハブの地位を維持していくことは確実です。これにより、海外からの投資がさらに増え、さらなる雇用が創出され、経済成長につながり、香港の市民も恩恵を受けることになるでしょう。



特集：

## 香港政府が新たな船舶リース優遇措置を発表

150年以上におよぶ海運の歴史を誇る香港は、付加価値の高い海運サービスの提供において優位性が高く、国際的な海運センターとしての地位を確立しています。900社を超える海運関連企業があり、海運業の集積地となっています。香港特別行政区政府は、要件を満たす適格船舶リース事業者（QSL）および適格船舶リース管理事業者（QSM）を対象とした優遇税制を導入しました。世界的な金融および海運の拠点としての香港の地位を、さらに向上させることを目的としています。

新たな税制は2020年4月1日以降に発生した収益に対し、適用されます。

QSLの利益に対する優遇税率	QSMの利益に対する優遇税率
<ul style="list-style-type: none"> <li>0%</li> <li>3年間継続してリースした船舶の売却にかかるキャピタルゲインに対する課税免除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連会社へのサービス提供：0%</li> <li>非関連会社へのサービス提供：8.25%</li> </ul>

### 確かな資金調達手段

高度に発展した金融市場により、香港は急速に成長している中国本土の海運市場への入口として最適です。広東・香港・マカオ大湾区（大湾区）内各都市との連携も進んでおり、香港の港は、中国南部の主要各港の一部として今後あらためて発展していく見通しです。大湾区構想には、国際的な海運センターとしての香港の地位を強化することが盛り込まれています。また、船舶管理・リース、船舶金融、紛争解決といった高度な海運サービスにおける香港の発展を支援するとも示されています。

こうした港湾群の世界における競争力をさらに強化するため、中国交通運輸部（Ministry of Transport）は、香港およびマカオの海運管轄当局と、大湾区における海上輸送の安全性とグリーン・ SHIPPINGの推進を目的とした枠組みを共同で立ち上げる協定を締結しました。

さらに、香港はアジアにおける国際的な船舶金融センターでもあります。香港における船舶融資や貸付はこの10年間にわたって年率9.8%という著しい成長をとげており、2020年9月時点での総額はおよそ1,260億香港ドルに達しています。ビジネスチャンスを見込み、船舶関連シンジケート・ローンのブックランナー世界トップ10のうち7社が香港に拠点を構えています。世界の銀行トップ100のうち、70行以上が香港で事業を展開し、その中には大規模な船舶金融ビジネスを手掛ける銀行も含まれます。

香港で船舶リース事業を設立あるいは拡大するにあたっての市場機会や競争優位性について詳細が知りたい事業者の皆様のために、インベスト香港は運輸住宅省と連携し、役立つ情報を簡単に入手できる、本件に特化したウェブサイト [shipleasing.hk](http://shipleasing.hk) をオープンしました。

### お問い合わせ先：

ベンジャミン・ウォン（Benjamin Wong）  
海事クラスター 部長（Head of Maritime Cluster）

☎ (852) 3107 1088

✉ [bwong@investhk.gov.hk](mailto:bwong@investhk.gov.hk)

🌐 専門ウェブサイト：[shipleasing.hk](http://shipleasing.hk)



香港特別行政区政府

**InvestHK** 投資推進局



## インベスト香港顧客紹介

### ■日本

アミューズメント施設の企画・運営会社 **Namco Enterprises Asia Limited** は、冒険遊びができる屋内デジタルプレイグラウンド『DOCODOCO The LOHAS 店』を 2021 年 2 月にオープンし、香港に新しいエンターテインメント体験を提供します。

『DOCODOCO The LOHAS 店』は「屋内・冒険の島ドコドコ」の海外初店舗で、5,000 フィート（約 465 m<sup>2</sup>）の広さがあります。同プレイグラウンドは最新のデジタル技術とアナログな遊びを融合させることにより、瞬時に子供たちの純粋なリアクションを引き出します。同プレイグラウンドでの体験は“夢いっぱいの冒険”のようで、子供たちの想像力を目一杯刺激し、楽しく密な親子時間を作り出します。

同社が香港市場に参入して 40 年以上経ちます。現在では PopCorn 内の「Asobi Park PLUS」、Telford Plaza 内の「SPORTAINMENT ARENA」、The LOHAS 内の「DOCODOCO The LOHAS」等、10 か所で屋内アミューズメント施設を運営しており、150 名以上の従業員がそれらの施設で働いています。

エンターテインメント  
[namco.com.hk](http://namco.com.hk)

